

城陽市障がい者自立支援協議会

第17回 療育部会報告書

報告者 部会長 大蔵 寛子

標記について下記のとおり報告します。

日 時	平成27年 9月 17日 (木) 10:00～
場 所	地域福祉センターういる 2階
出席者	城陽市福祉課 相談支援事業所(障害児(者)地域療育支援センターういる) サービス提供事業所 (ふたば園、あっぷ、きりん、城陽市社会福祉協議会訪問介護センター、汽車ぽっぽ、 ちゃれんじ、そらいろ、ものづくりスペースみんななかま)
検討課題	… 事例検討会

【議事録】

1. 事例検討会

事例報告：支援センターういる

●支援学校(小学生) 不登校ケース

学校への行き渋りがある支援学校の児童に対して、家族支援、本人支援をどうすすめればいいのかを検討。支援に入る前に本人との関係づくりしっかりとした上で、支援を開始したことや、好きなものが明確なため、好きなものを中心に支援を組み立てることで、余暇部分の支援経過は一定良好、そのことをどう今後に結びつけられるのか。意見として、相談支援が関係機関とを結び付けて協議する役割を担う必要がある。

●普通学校(中学生) 不登校ケース

不登校でもあり、学校以外での友達づくりの場が欲しいと希望される知的な遅れのない生徒に対して、どういった支援や福祉サービスが提供できるのか検討。知的な遅れのない児童への福祉サービス調整依頼が増えてきた点について、情報共有実施。知的な遅れがない児童は、福祉サービス事業所での過ごしが本人ニーズに合わないことが多く、使い始めても継続することが難しいとの意見あり。

2. その他

発達部会より「福祉と教育との連携事例」協力についてお願い

発達部会で取り組んでいる福祉と教育との連携シートの活用と事例収集について、各事業所での教育との連携を検討しているケースがあれば、協力願いたい。

教育と福祉の連携相談窓口：城陽市福祉課

次回開催：11月19日10:00～予定

内 容：不登校支援についての事例検討会（報告者：放課後等デイサービスきりん）